

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	企画部
課室名	文化振興課

予算	款	項	目	決算書
	2	1	12	76 頁

目 名
文化振興費

事務事業名称
文化振興施設管理事業

1. 概要

目的	文化施設(総合文化センター(エイトピアおおの)、朝倉文夫記念館、幸寿美術館、徳田白楊記念館)の管理を通じて文化活動の拠点施設として市民が行う主体的な文化活動の推進と支援を図る、また郷土の作家を顕彰し、その美術作品などを後世に引き継ぐとともに、市民に観覧機会を提供する	対象	市民ほか利用者
事業概要	○豊後大野市総合文化センター管理事業:施設の有効利用及び利用者への安全確保に努め、市民が利用しやすい文化施設環境の整備を図った ○朝倉文夫記念公園管理事業:市民が利用しやすい文化施設環境の整備、朝倉文夫の作品・資料の管理、収集等を行った ○幸寿美術館管理事業:施設の有効利用及び安全確保に努め、市民が利用しやすい文化施設環境の整備を図った ○徳田白楊記念館管理事業:指定管理により施設の有効利用及び安全確保に努めた ○エイトピアおおの整備事業(住民生活に光をそそぐ交付金事業):歩道改修工事、舞台照明操作卓取替工事を行った ○エイトピアおおの整備事業(繰越明許・きめ細やかな臨時交付金):駐車場区画線工事及び冷温水機発生装置オーバーホール工事を行った ○朝倉文夫記念公園環境整備事業(緊急雇用創出事業臨時特例交付金):記念公園の環境整備を行った ○外に出る美術館事業(地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金):朝倉文夫紹介ビデオ制作、記念館所蔵作品の画像データ化、彫像解説パネルの作成、木製パズル等の作成を行った		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
經常	豊後大野市総合文化センター管理事業	利用者数56625人 委託料	117,203	63,022			9,160	53,862	3
經常	朝倉文夫記念公園管理事業	入場者数4514人 負担金補助及び交付金	74,832	12,928			1,609	11,319	3
經常	幸寿美術館管理事業	入場者数19人 需用費	1,507	1,460			6	1,454	1
經常	徳田白楊記念館管理事業	利用者数105人 委託料	60	60				60	1
臨時	エイトピアおおの整備事業	歩道改修、舞台照明操作卓取替 工事請負費	6,573	6,130	1,658			4,472	2
臨時	エイトピアおおの整備事業	駐車場区画線工事、冷温水器オーバーホール工事 工事請負費	10,978	10,809	10,700			109	2
臨時	朝倉文夫記念公園環境整備事業	記念公園環境整備 委託料	804	804	804				2
臨時	外に出る美術館事業	DVD等25本・パズル200枚・作品データCD2枚外 委託料	4,437	3,050	3,050				2
計			216,394	98,263	16,212	0	10,775	71,276	

2. 指標設定

成果指標	指標名	年間利用者数	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	66,500人			総合計画／後期基本計画において、基本施策(5-2-2)の目標としているため			
活動指標	指標	a 総合文化センターの利用者数	b	朝倉記念館の来館者数	c		d	
	数値	目標 63,000人	目標	3,500人	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
年間利用者数	人	55,600 人	54,318 人	61,139 人
		83.6 %	81.7 %	91.9 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 総合文化センターの利用者数	人	52,355 人	50,875 人	56,625 人
		83.1 %	80.8 %	89.9 %
b 朝倉記念館の来館者数	人	3,245 人	3,443 人	4,514 人
		92.7 %	98.4 %	129.0 %
c				
d				

4. 課題と対応

課題
施設の老朽化が進み修繕改修に費用がかかるようになってきている。芸術鑑賞は敷居の高いものという意識を持っている人がいる。
対応（改善点等）
総合文化センターの指定管理導入を進めながら、利用しやすい環境整備に努める。朝倉記念公園の環境整備については、地域やボランティアに協力を得る取り組みを行う。また、外に出る美術館事業を積極的に進めていく。

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

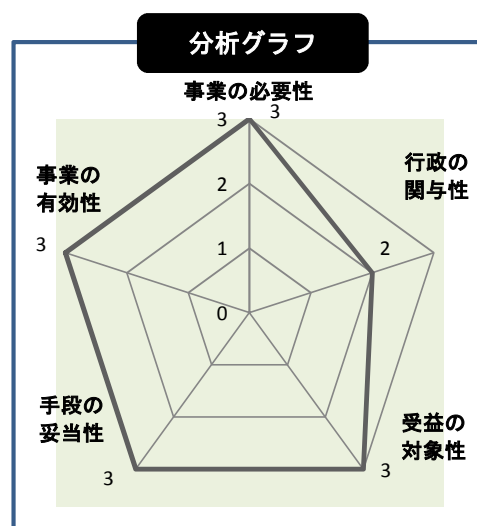
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		68,347	81,801	98,263	189,878
うち経常経費		61,398	78,138	77,470	66,722
財源内訳	国費		3,663	16,212	112,664
	県費				
	市債				
	その他	9,688	9,634	10,775	9,836
	一般財源	58,659	68,504	71,276	67,378
うち経常		51,710	68,504	66,695	63,598
事業費に係る人件費		16,641	16,725	17,168	21,156

6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
改修工事費を除いては、削減計画に沿って執行する

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市民に芸術に触れる機会を提供したり、制作活動を行っている市民に発表の場を提供するのは心豊かな生活を送る上で必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 民間によるサービスも可能であるが利益につながらないものや公益性のあるものには行政の関与が必要である
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民に享受できている
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために有効な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 おおむね期待したほどの成果が上がっている



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
縮小	計画的な運営管理を行うとともに、公共施設の見直し方針に則ること（徳田記念館）